

第1号議案

令和元年度

事業実施概要報告書

社会福祉法人松寿会

目 次

	頁
I. 本部	1
1. 令和元年度まとめ	1
2. 年間行事・諸会議開催状況	2
II. 施設の概要	
1. 建物の規模および構造並びに設備の概要	3
2. 職員の状況	3
III. 特別養護老人ホーム(指定介護老人福祉施設)松寿苑	
1. 令和元年度まとめ	4
2. 施設入所者の状況	
(1)市町村別利用状況	5
(2)要介護度別入苑者数	5
(3)年齢構成	6
(4)在苑期間	6
(5)入退所者の状況	
(イ)入所前の生活場所 (ロ)退所理由	7
(6)利用負担限度額の状況	8
(7)障害老人の日常生活自立度状況	9
(8)認知症老人の日常生活自立度状況	10
(9)入苑者の入院状況	
(イ)疾病別入院者数 (ロ)疾病別入院日数	11
(10)年間利用状況	12
3. 年間行事、余暇活動実施状況	13
4. 給食の実施状況	
(1)入苑者の食事状況	14
(2)検食実施状況	14
(3)栄養摂取状況	14
5. 行事食等献立一覧	15
6. リハビリテーション実施状況	16
7. ボランティア活動状況	17
8. 研修受け入れ状況	17
9. 職員研修状況	18,19
IV. 指定短期入所生活介護事業所ショートステイ松寿苑	
1. 令和元年度まとめ	20
2. ショートステイ利用状況	
(1)年度別利用状況	20
(2)令和元年度月別利用状況	20
(3)令和元年度市町村別利用者状況	20
V. 松寿苑デイサービスあ・うん	
1. 令和元年度まとめ	21
2. 令和元年度月別利用状況	21
VI. 居宅介護支援事業所松寿苑	
1. 令和元年度まとめ	22
2. 令和元年度月別ケアプラン作成件数	22
VII. 事故およびヒヤリハット発生状況	
○ 特養	23
○ 短期入所・デイサービス	26
VIII. 身体拘束状況	27
IX. 苦情受付状況	27
付表 入苑待機状況	28

I. 本部

1. 令和元年度まとめ

平成29年4月1日より社会福祉法改正による改正社会福祉法人制度が施行され、当法人においても、議決機関としての評議員会と業務執行に関する意思決定機関である理事会が相互に責務を果たし、適切に法人を運営をするべく努めてきたところである。

事業内容を資金収支の面からみると、事業活動において収入が大幅に低下し支出の節減を図ったが最終的な事業活動収支差額は21,482千円と前年に比して大幅に低下したこと等のため、全体的な当期資金収支差額は▲10,324千円の赤字に転化した。

拠点区分別には、特養については、多床室（従来型）部門では黒字を確保できたがユニット型部門においては職員の減少等により、8月から1ユニット閉鎖したため赤字となり全体としては赤字となった。またショートステイにおいても職員不足により、利用者数を制限してきたため赤字となった。居宅介護支援事業所においては、黒字となったが、デイサービスでは、10月頃から職員不足のため稼働率を抑えたことにより赤字となった。

介護職の人材不足が続く中、新人職員が定着しやすい環境を整えるための一環として、本年度は新人職員の担当者を決め、実際の現場で実務を通して学ぶOJT教育を実施した。教育体制を整えることで新人職員の不安解消につながり、また指導する中堅職員においても成長することが出来た。今後も引き続き教育体制を整えていきたい。

10月から特定処遇改善手当を、①経験・技能のある介護職、②他の介護職、③その他の職員とに区分けし配分した。

外国人労働者については、地元企業が行っている介護職外国人特定技能支援事業での受け入れを検討してきた。新型コロナウイルスに伴い現在事業が止まっている状況だが引き続き検討していきたい。

新型コロナウイルスが世界的に蔓延し、当施設においても2月29日から面会禁止とし、感染症予防に取り組んできた。施設においては感染源を持ち込まないことが重要であり、出勤前の問診や勤務体制の変更等を通して三つの密（密閉、密集、密接）の防止に取り組んできた。面会禁止も長期に及ぶことが予想されるため、今後はご家族との交流が持てる対応を検討していきたい。

地域の社会資源としての地域福祉への貢献の姿勢が問われる中、地域や施設の行事を通しての交流、保育所や小学生との交流、中高生の職場体験、介護実習等を受け入れてきた。今後は、災害時に備えた地域のコミュニティづくりを地域と連携し取り組みを進めていきたい。

また、近年の異常気象等に自然災害や原子力災害、外部からの不審者の侵入等への対応、取り組みが求められる中、防災研修の実施や避難訓練の実施、備蓄品の購入等職員の意識啓発とともに継続的に取り組んできたが、新型コロナウイルスをはじめ、インフルエンザ、ノロウイルス等の感染症対策にも油断することなく取り組んでいかねばならないと考える。

2. 年間行事・諸会議開催状況

実施年月日	行事・会議	内容事項
R. 1. 5. 27	監事による会計監査	年度事業執行状況及び会計監査
R. 1. 6. 4	第153回理事・監事 合同役員会	平成30年度事業報告及び収支決算認定 新理事、監事の選任について 定時評議員会の招集
R. 1. 6. 18	第154回理事・監事 合同役員会	理事長の選定について 顧問の委嘱について
R. 1. 9. 26	第155回理事・監事 合同役員会	指定介護老人福祉施設運営規程 指定短期入所生活介護事業所運営規程 ユニット型指定介護老人福祉施設運営規程 ユニット型指定短期入所生活介護事業所運営規程 の一部改正 評議員選任・解任委員の選任
R. 2. 3. 12	第156回理事・監事 合同役員会	令和元年度第1次補正予算(案) 令和2年度事業計画(案) 令和2年度予算(案)
R. 2. 3. 27	定時評議員会	施設長の交代に伴う理事の選任について ※新型コロナウイルス対策に伴い書面決議

II. 施設の概要

1. 建物の規模および構造並びに施設・設備の概要

敷地面積	9, 865. 82㎡		
建物の面積	建築面積	2, 698. 28㎡	
	延床面積	4, 498. 59㎡	
	(本体	4, 385. 57㎡)	
建物の構造	RC造、2階建		
施設の概要	特別養護老人ホーム（ユニット型個室）	50床	
	”	（多床室）	30床
	短期入所生活介護事業所（ユニット型個室）	10床	
	”	（多床室）	空床型
	デイサービス	30名	
	”	（介護予防・日常生活支援総合事業）	5名
設備の概要	居宅介護支援事業所		
	空調冷暖房、エレベーター、全館放送設備		
	ナースコール、特浴（1）、個浴（3）、中間浴（5）		
	各ユニット・多床室・デイサービスに調理設備		
	リハビリ器具（トレーニングマシン（4）・レッドコード（6）平行棒）		
防災設備	スプリンクラー、消火用散水栓、自動火災報知機		
	非常火災通報装置、誘導灯、非常電源設備、避難用すべり台		

2. 職員の状況（R2.3.31現在）

	特養		短期	デイ	居宅介護 支援	合計	備 考
	多床室	ユニット	ユニット	サービス			
施設長（管理者）	1名				1名	2名	
生活相談員	4名			1名	—	5名	社会福祉士5名 パート1名、育休1名
看護職員	5名		1名	4名	—	10名	正看護師6名 パート3名
介護職員	18名	28名	7名	8名	—	61名	介護福祉士48名 パート15名、育休1
介護支援専門員	5名			—	2名	7名	6名は兼務
機能訓練指導員	1名			2名	—	3名	PT3名、育休1名
管理栄養士	1名			—	—	1名	
運転手	—			3名	—	3名	パート3名
事務員等	4名					4名	パート1名
実 員	89名		正職員59名 嘱託・臨時等（常勤）6名 パート23名				

※ 介護支援専門員…特養・短期は、生活相談員・介護職員と兼務
居宅介護支援は管理者と兼務

Ⅲ. 特別養護老人ホーム(指定介護老人福祉施設)松寿苑

(多床室30床、ユニット型50床)

1. 令和元年度のまとめ

前年度に続き、重点目標である「サービスの質の確保、入居者本位のサービス提供」については、入居者一人一人が主体的に日常生活を営むことができるよう、入居者、家族の意向を反映した介護サービス計画書を作成し実施した。また、入居者、家族からの意見や要望に関しては迅速に対応するとともに、家族等の面会を常に意識し、職員一人一人が丁寧な対応を行う事で家族等が相談しやすい環境づくりに努めた。

看取り介護について、昨年度と同様の14名の方が、家族や職員の見送りの中、人生最後の瞬間を慣れ親しんだ当苑で迎えられた。より良い支援につなげて行くため、また職員の意識向上のために看取り後の振り返りカンファレンスを継続して行った。

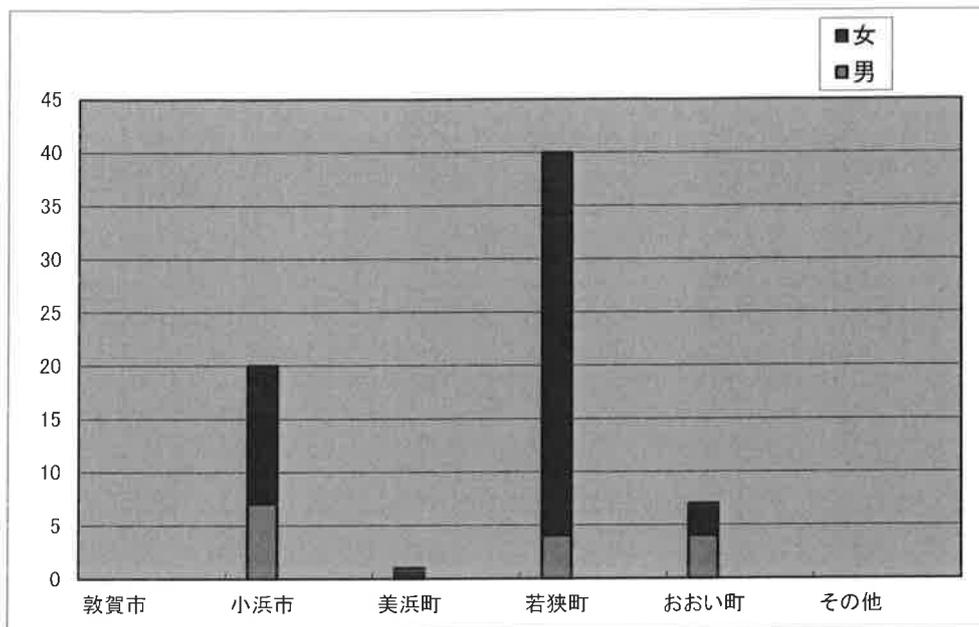
「安全確保とリスク対策」については、リスクマネジメント委員会を中心としヒヤリハット報告書を活用し、事故の未然防止に努めるとともに、研修を通して職員の意識向上を図った。感染症に関しては、1月に特養の職員6名と利用者5名がインフルエンザで罹患した。利用者の内2名が入院された。発症後より囑託医と連携し、感染症予防の徹底と利用者、職員の予防タミフル服用等の対応を行い感染拡大防止に努めた。

「人材育成」外部研修は、職員不足等により不参加となるが多かった。また各職員が各種委員会を担当し、主体的に運営することで責任を持って委員会活動を務めた。

令和元年度の稼働率は、昨年度の94.5%から82.9%に大きく減少した。内訳として多床室は95.8%から93.7%と若干減少した。ユニットは、93.8%から76.3%へと大きく減少した。昨年度末からの介護職退職に伴い、8月から1ユニット閉鎖してきたことにある。引き続き職員の確保と、人材育成が重点となるため、働きやすさ、働きがいのある環境作り、体制整備に努めたい。

2. 施設入苑者の状況
 (1) 市町村別利用状況

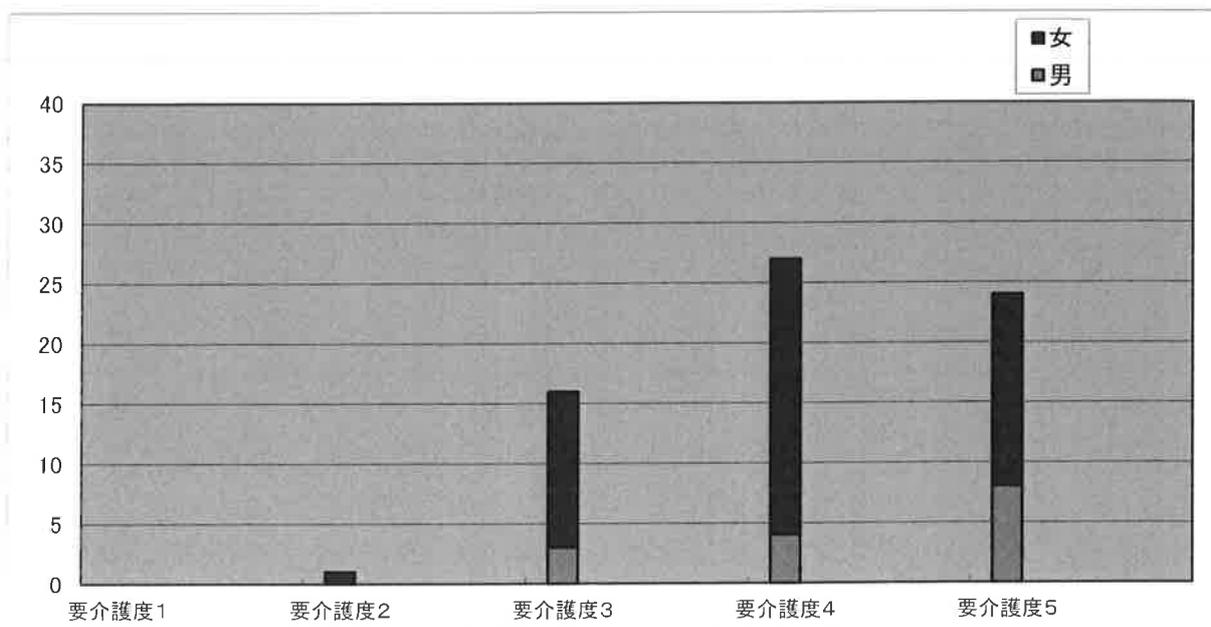
(令和2年3月31日現在)



	敦賀市	小浜市	美浜町	若狭町	おおい町	その他	合計
男	0	7	0	4	4	0	15
女	0	13	1	36	3	0	53
計	0	20	1	40	7	0	68

(2) 要介護度別入苑者数
 平均介護度 4.09

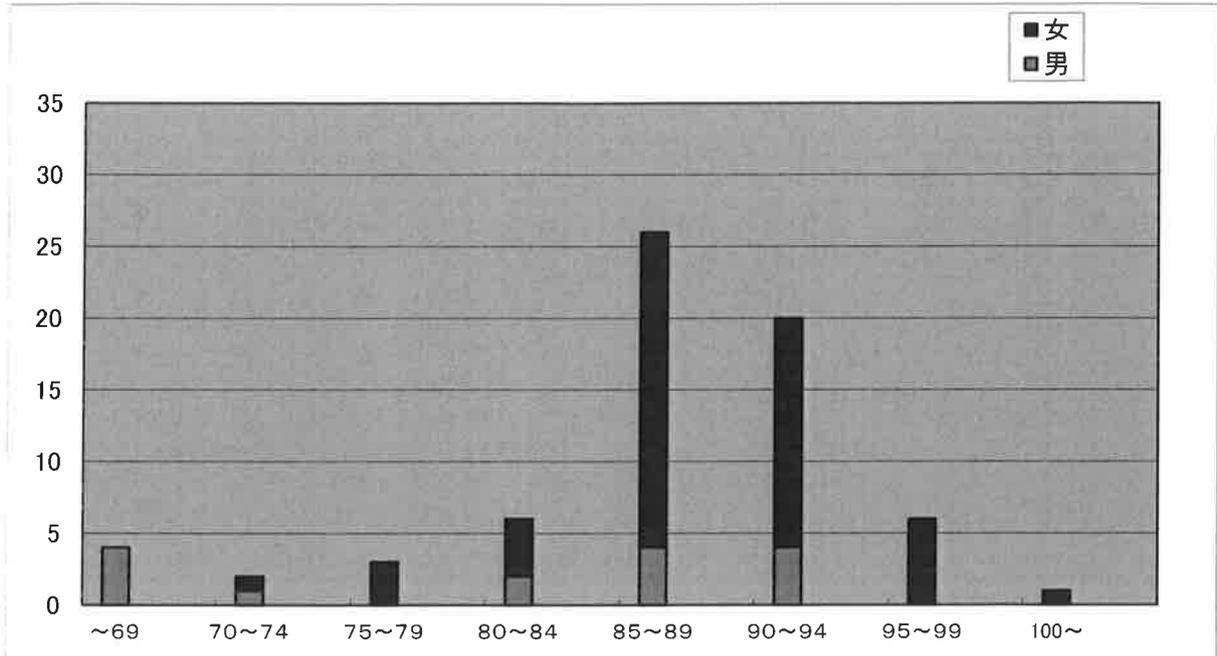
(令和2年3月31日現在)



	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
男	0	0	3	4	8	15
女	0	1	13	23	16	53
計	0	1	16	27	24	68

(3) 年齢構成

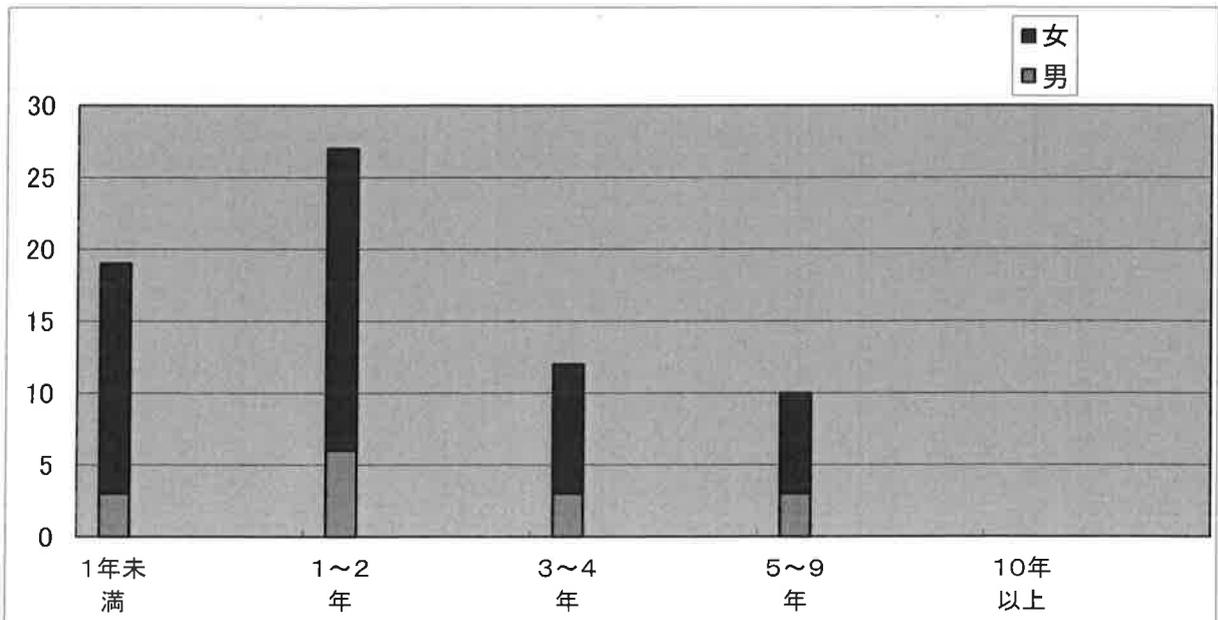
平均年齢 男 72.7歳 女 90.9歳 総数 86.9歳 (令和2年3月31日現在)



	~69	70~74	75~79	80~84	85~89	90~94	95~99	100~	合計
男	4	1	0	2	4	4	0	0	15
女	0	1	3	4	22	16	6	1	53
計	4	2	3	6	26	20	6	1	68

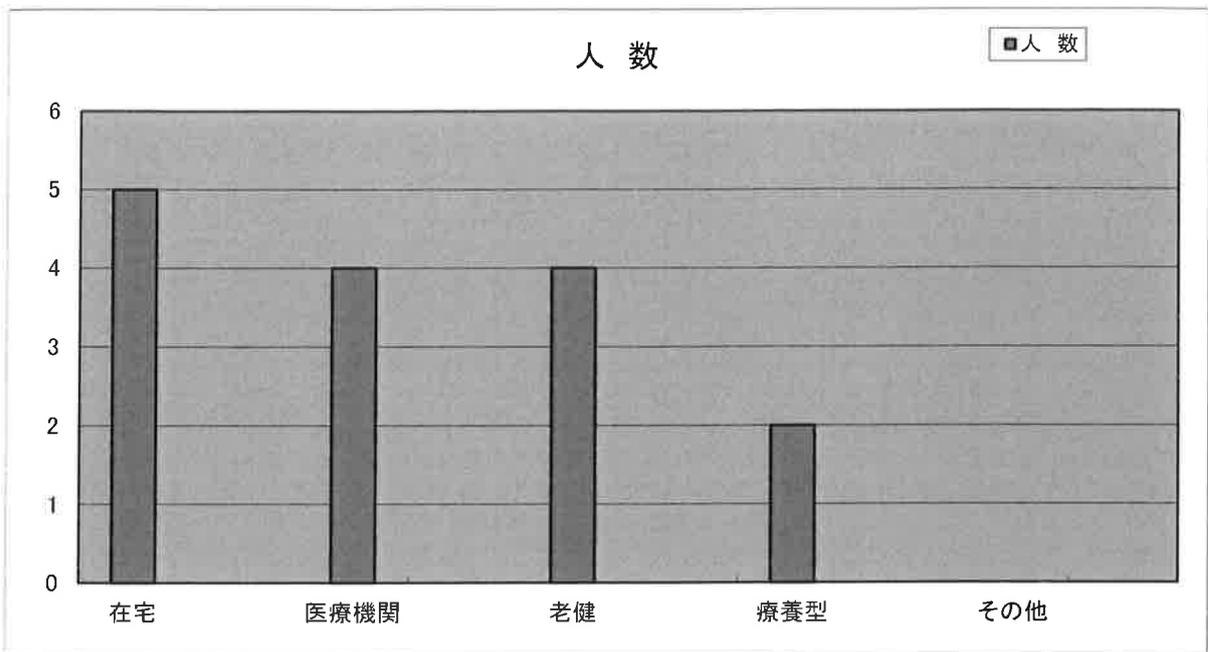
(4) 在苑期間

平均在苑期間 男 2年8か月 女 2年5か月 総数 2年5か月 (令和2年3月31日現在)



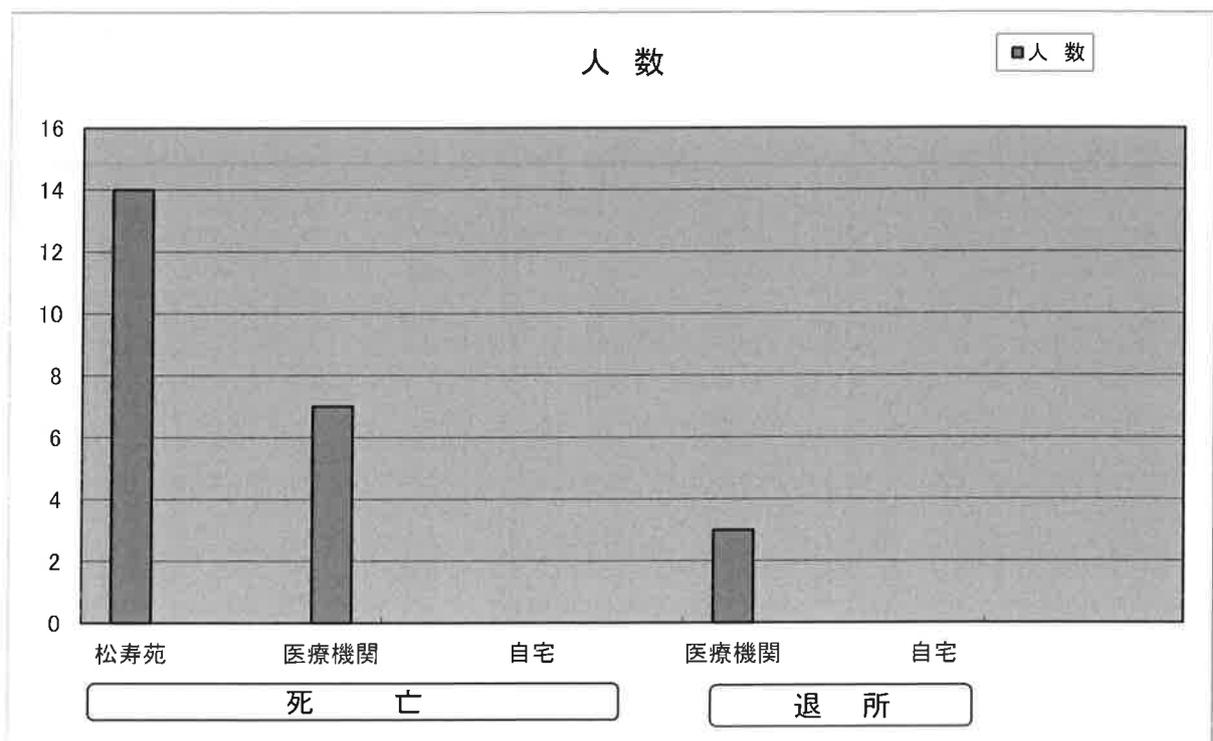
	1年未満	1~2年	3~4年	5~9年	10年以上	合計
男	3	6	3	3	0	15
女	16	21	9	7	0	53
計	19	27	12	10	0	68

(5)入退所者の状況(令和元年度)
 (イ)入所前の生活場所



	入所前の生活場所				
	在宅	医療機関	老健	療養型	その他
人数	5	4	4	2	0

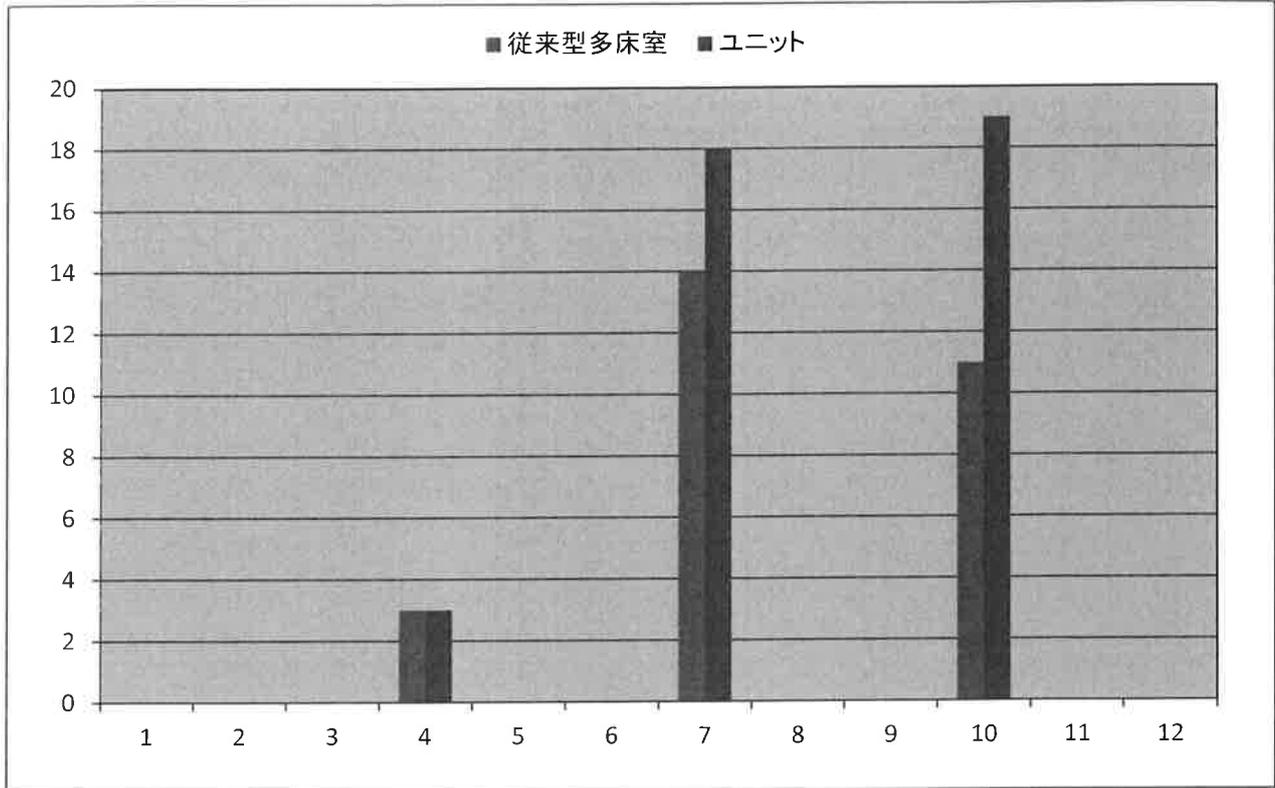
(ロ)退所の理由



	死亡			退所	
	松寿苑	医療機関	自宅	医療機関	自宅
人数	14	7	0	3	0

(6) 利用料負担限度額の状況

(令和2年3月31日現在)



	第1段階	第2段階	第3段階	第4段階
従来型多床室	0	3	14	11
ユニット	0	3	18	19

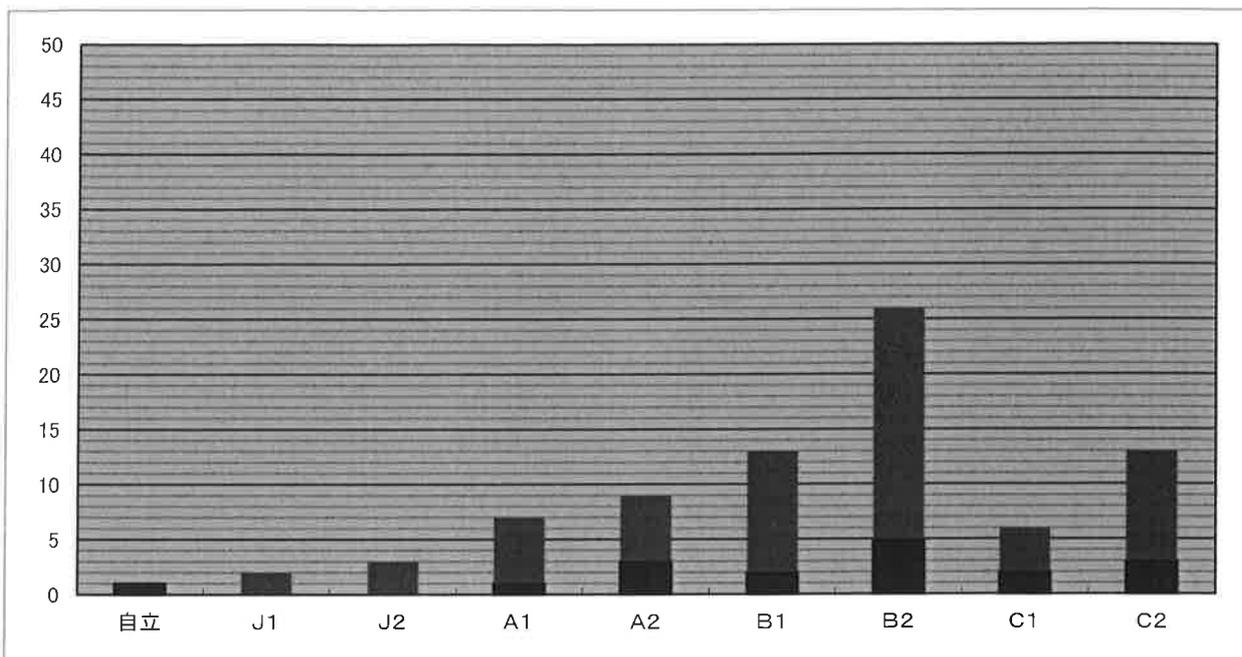
各段階の自己負担額は、以下のように設定されております。()内は補足給付額

段 階	食費(円)	居住費(円)		適 用 条 件	
		ユニット	多床室		
第1段階	300(1,092)	820(1,186)	370(485)	生活保護受給者 老齢福祉年金受給者	市町村民税 非課税世帯
第2段階	390(1,002)	820(1,186)	370(485)	収入額80万円以下	
第3段階	650(742)	1,310(660)	370(485)	収入額80万円以上	
第4段階	1,500	2,020	890	上記以外の方 (負担額は各施設で設定)	市町村民税 課税世帯

自己負担額との差額は、補足給付として保険者(市町)から給付されます。
(給付限度額は、食費1,392円、居住費ユニット2,020円、従来型多床室890円となっています。)

(7)障がい高齢者の日常生活自立度(令和元年度)

(令和2年3月31日現在)

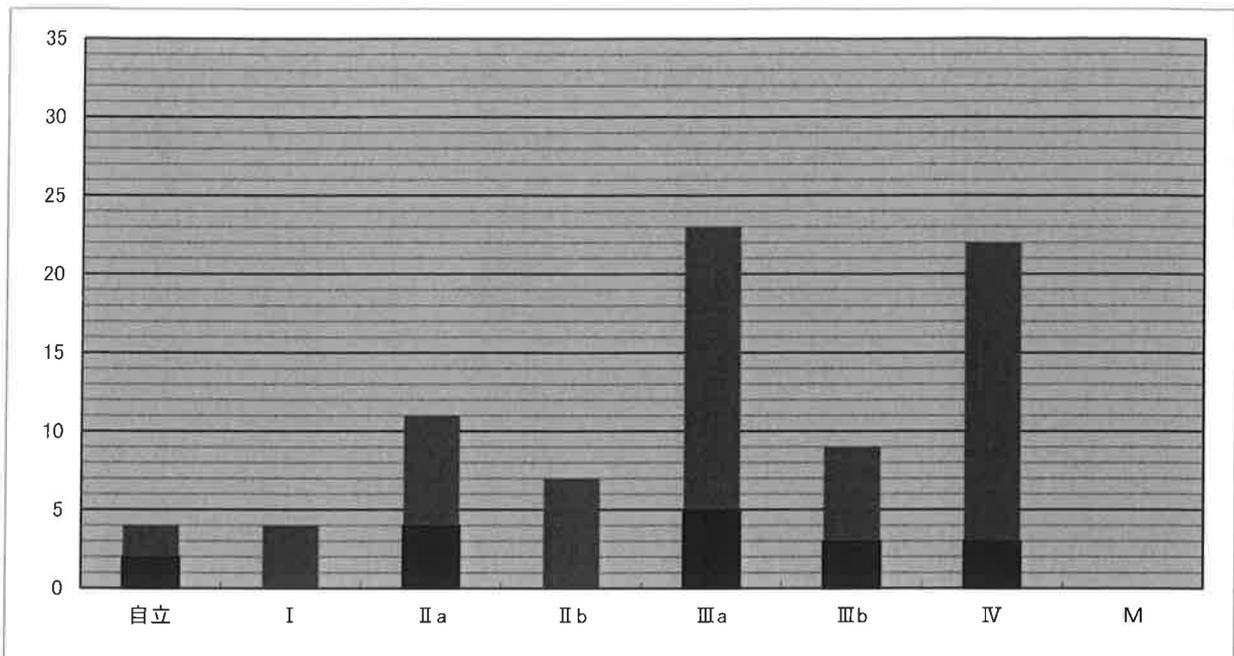


	自立	J1	J2	A1	A2	B1	B2	C1	C2
男	1	0	0	1	3	2	5	2	3
女	0	2	3	6	6	11	21	4	10
計	1	2	3	7	9	13	26	6	13

	ランク	生活の場の制限	身体状態の障害等	介護の状況・行動の例
生活自立	J1	独力で外へ出られる	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており、独力で外出する	交通機関等を利用して外出する
	J2			隣近所へなら外出する
準寝たきり	A1	家の中で生活	食事・排泄・着替えに関しては概ね自分で行き、近所に外出する時は介護者の援助を必要とする	介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する
	A2			外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
寝たきり	B1	室内での移動は車椅子での生活	座位を保ち、一日の大半をベッド上で過ごす。食事・排泄・着替えのいずれかはベッドから離れる	介助なしで車椅子に移乗する
	B2			介助のもと車椅子に移乗する
	C1	ベッド上での生活	一日中ベッドの上で過ごし、食事・排泄・着替えのいずれにおいても介護者の援助が必要	自力で寝返りできる
	C2			自力では寝返りできない

(8) 認知症高齢者の日常生活自立度(令和元年度)

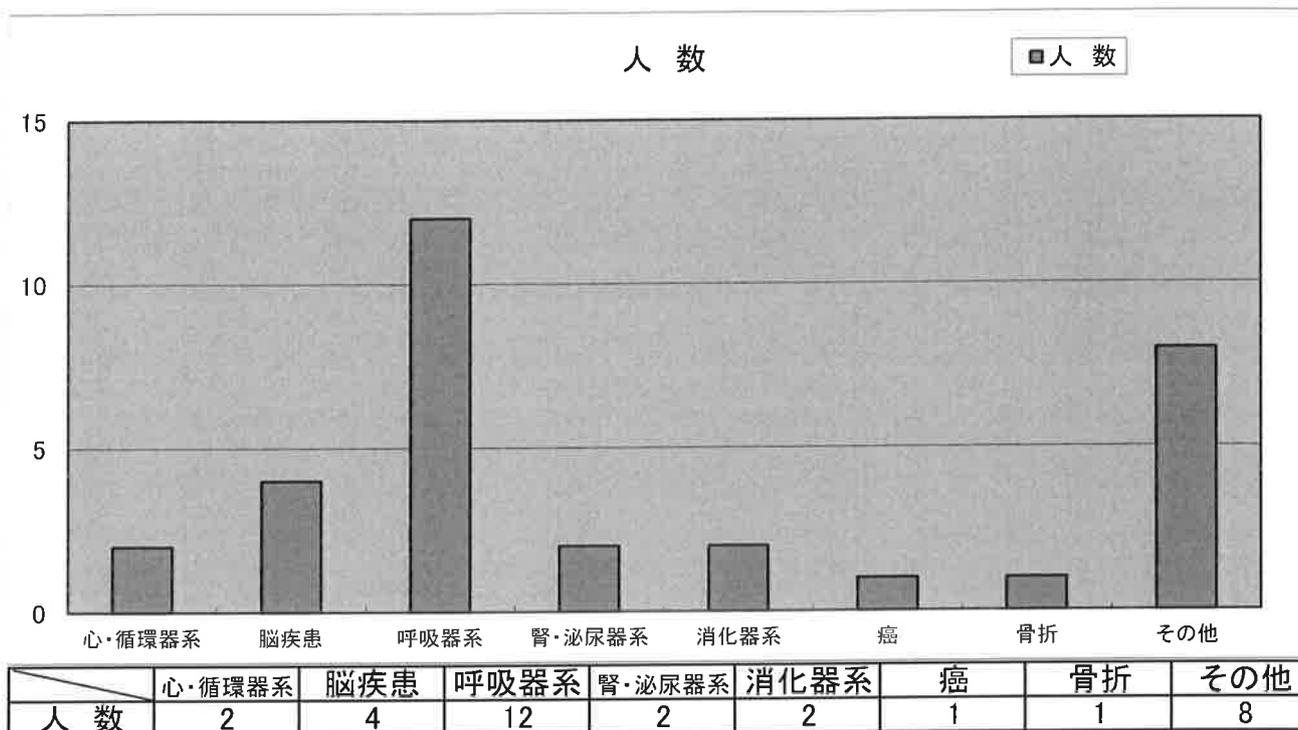
(令和2年3月31日現在)



	自立	I	II a	II b	III a	III b	IV	M
男	2	0	4	0	5	3	3	0
女	2	4	7	7	18	6	19	0
計	4	4	11	7	23	9	22	0

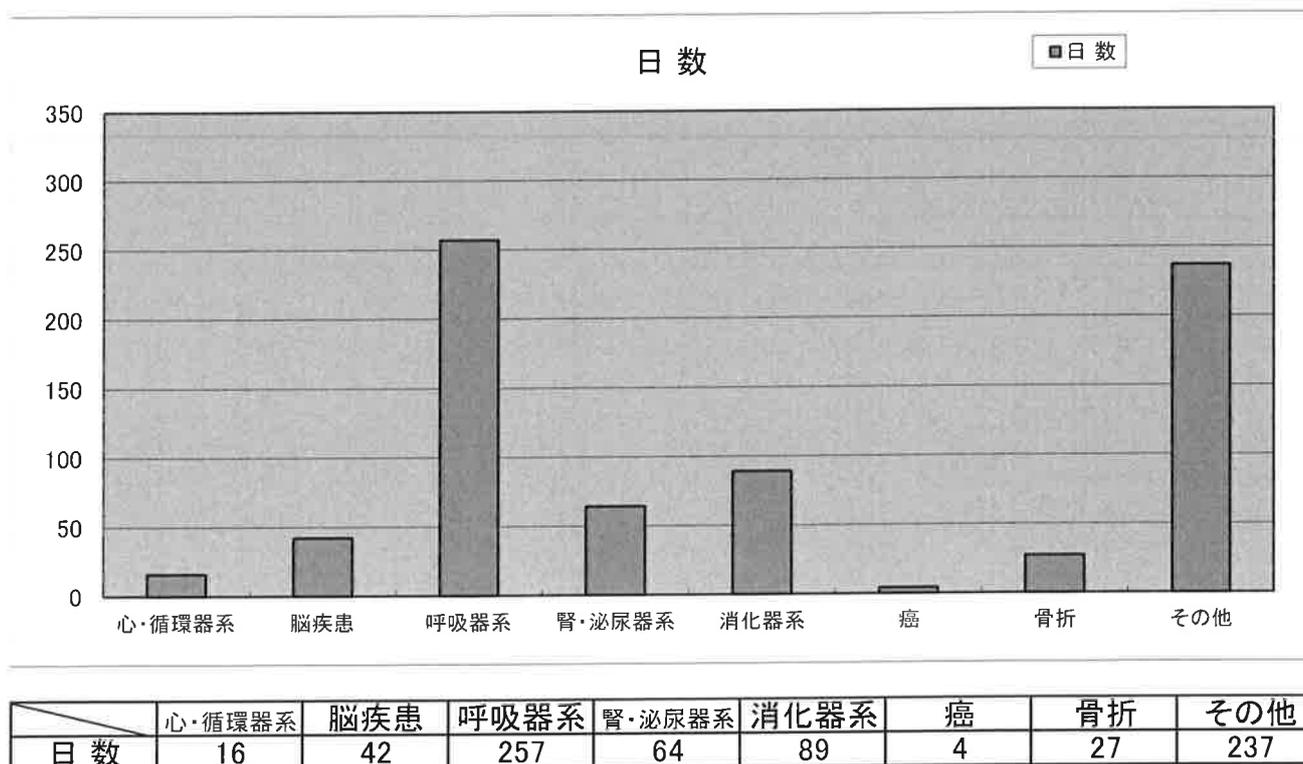
ランク	判断基準		見られる症状・行動の例
I	ほぼ自立でひとり暮らしが可能 (日常生活に必要な意思疎通はできる)		
II	II a	IADL低下が見られる	家庭外で症状が見られる 家庭内でも症状が見られる
	II b	誰かの注意が必要	
III	III a	ADL低下が見られる。ときどき介護が必要	日中を中心に症状が見られる 夜間を中心に症状が見られる
	III b		
IV	常に介護が必要		IIIより頻回 常に目を離すことができない
M	日常生活に必要な意思疎通ができない又はまれにしかできない		せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

(9)入苑者の入院状況(令和元年度)
 (イ)疾病別入院者数(延32名)

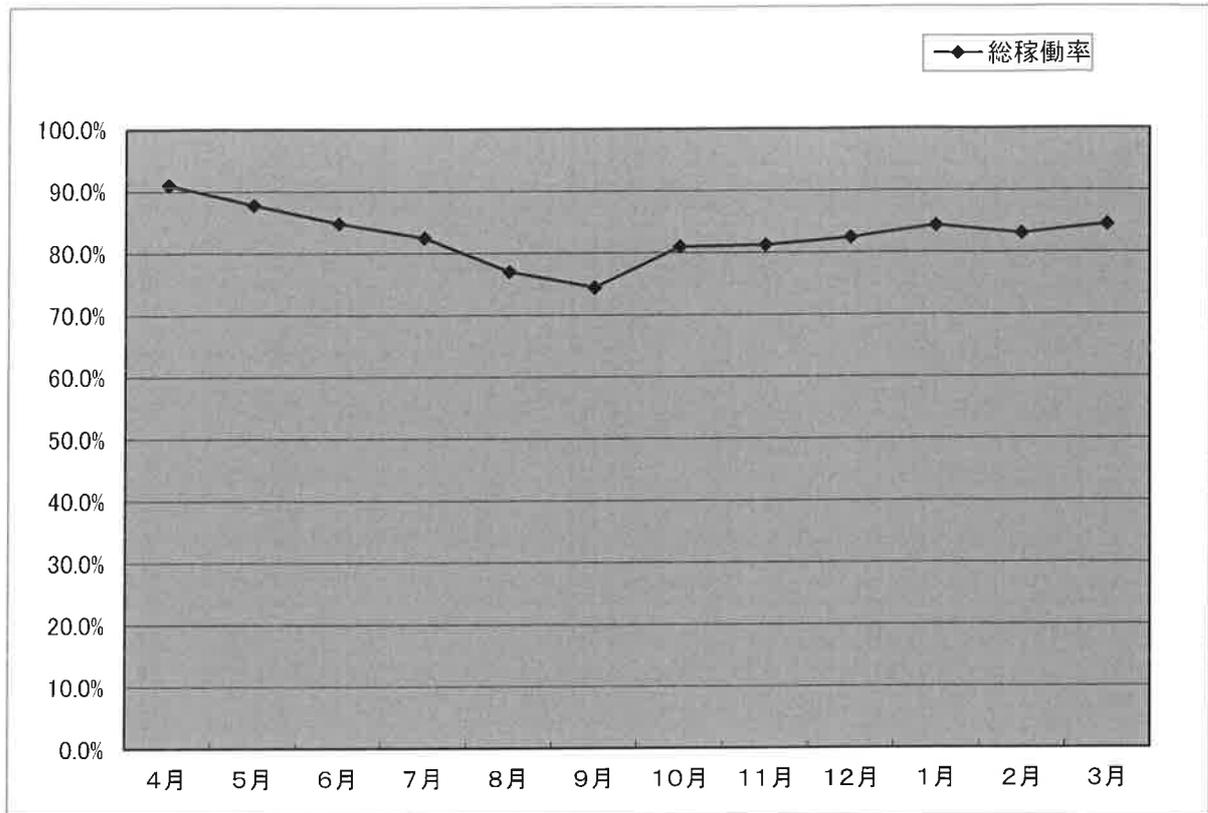


救急車にて搬送…5回

(ロ)疾病別入院日数(736日)



(10)年間利用状況(令和元年度)



		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
多 床 室	定員総日数	900	930	900	930	930	900	930	900	930	930	870	930	10,980
	入院日数	5	50	26	25	27	0	0	22	5	0	28	0	188
	外泊日数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	空床日数	0	4	54	74	71	83	60	30	43	30	13	40	502
	空床総日数	5	54	80	99	98	83	60	52	48	30	41	40	690
	延入所者数	895	876	820	831	832	817	870	848	882	900	829	890	10,290
	短期空床利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者数	895	876	820	831	832	817	870	848	882	900	829	890	10,290
	稼働率	99.4%	94.2%	91.1%	89.4%	89.5%	91%	93.5%	94.2%	94.8%	97%	95%	96%	93.7%
ユ ニ ツ ト 型	定員総日数	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,500	1,550	1,500	1,550	1,550	1,450	1,550	18,300
	入院日数	51	44	67	98	125	66	26	0	26	41	37	23	604
	外泊日数	0	3	7	0	1	1	0	0	1	7	0	0	20
	空床日数	160	201	210	237	346	463	385	398	361	310	315	321	3,707
	空床総日数	211	248	284	335	472	530	411	398	388	358	352	344	4,331
	延入所者数	1,289	1,302	1,216	1,215	1,078	970	1,139	1,102	1,162	1,192	1,098	1,206	13,969
	短期空床利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	実利用者数	1,289	1,302	1,216	1,215	1,078	970	1,139	1,102	1,162	1,192	1,098	1,206	13,969
	稼働率	85.9%	84.0%	81.1%	78.4%	69.5%	64.7%	73.5%	73.5%	75.0%	76.9%	75.7%	77.8%	76.3%
総稼働率	91.0%	87.8%	84.8%	82.5%	77.0%	74.5%	81.0%	81.3%	82.4%	84.4%	83.1%	84.5%	82.9%	

3. 年間行事,余暇活動実施状況(令和元年度)

○ ユニット

【さくら通り】(特養・短期入所)

月	日	行 事 内 容
5	24	外出(買い物)
8	1	手作りおやつ
8	26	手作りおやつ
9	6	外出(買い物)
9	27	ミニ秋祭(食事、おやつ、ゲーム)

【なの花通り】

月	日	行 事 内 容
6	16	手作り昼食・おやつ
7	24	手作り昼食・おやつ
8	7	手作りおやつ
9	4	ミニ納涼祭(食事、おやつ、ゲーム)
10	17	故郷訪問
10	13	ミニ運動会

【すずらん通り】

月	日	行 事 内 容
5	31	手作り昼食・おやつ
7	31	手作り昼食・おやつ
8	28	ミニ納涼祭(食事、おやつ、ゲーム)
10	17	手作り昼食・おやつ
1	21	手作り昼食・おやつ
3	25	手作り昼食・おやつ

○ 通所介護

松寿苑デイサービスあ・うん

月	日	行 事 内 容
4	8・9 13	お花見(上中駅裏)
5	22	手作りおやつ
6	25	七夕交流会(三宅保育所)
9	4 12	納涼祭
10	21	運動会
3	21	外出(河内ダム)

○ 多床室

【木の実通り】

4	28	手作りおやつ
6	23	手作りおやつ、カラオケ
8	21	夏祭り(手作りおやつ)
11	14	手作り昼食
12	26	手作りおやつ、カラオケ
1	22	手作り昼食
1	28	手作りおやつ
2	19	手作りおやつ
3	18	手作りおやつ
随時		習字、DVD鑑賞、カラオケ

共 通

月	日	行 事 内 容
5	8	花まつり巡回(上中仏教会)
6	6	子供みこし(井ノ口区)
7	6	ラ・フローラ
8	9	盆供養
9	10	敬老会
10	1	開苑記念日
12	27	もちつき
		避難訓練 年3回 (火災…2回 土砂災害…1回) 原子力防災訓練 年1回

毎 月	誕生会(各ユニット毎) ミュージックケア 手作りおやつ
随 時	レクリエーション (風船バレー、パズル、トランプ 貼り絵、しりとり、将棋等) いきいき活動 (おしぼり・エプロン・洗濯物たたみ 新聞切り・折り等) 外気浴 (苑内外散歩、花見、日光浴等) 音楽 (歌う、カラオケ、音楽鑑賞等)

4. 給食の実施状況

(1) 入苑者の食事状況

(令和2年3月31日現在)

① ユニットの食数

	朝食						昼食						夕食					
	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計
普通	22	1	2	0		25	22	1	2	0		25	22	1	2	0		25
刻み	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0
小刻み	3	0	1	0		4	3	0	1	0		4	3	0	1	0		4
極小	4	1	1	1		7	4	1	1	1		7	4	1	1	1		7
ミキサー	1	0	0	0		1	1	0	0	0		1	1	0	0	0		1
ソフト	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0
注入					2	2					2	2					2	2
小計	30	2	4	1	2	39	30	2	4	1	2	39	30	2	4	1	2	39

② 多床室の食数

	朝食						昼食						夕食					
	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計	常食	軟菜	減塩	ハーフ	注入	小計
普通	4	0	0	1		5	4	0	0	1		5	4	0	0	1		5
刻み	6	0	0	0		6	6	0	0	0		6	6	0	0	0		6
小刻み	2	1	1	0		4	2	1	1	0		4	2	1	1	0		4
極小	6	1	0	1		8	6	1	0	1		8	6	1	0	1		8
ミキサー	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0	0	0	0	0		0
ソフト	0	0	0	1		1	0	0	0	1		1	0	0	0	1		1
注入					5	5					5	5					5	5
小計	18	2	1	3	5	29	18	2	1	3	5	29	18	2	1	3	5	29

注：軟菜：軟菜食（軟らかく、脂ものが少ない食事） ハーフ：ハーフ食（食事1/2量+補助食品）
 注入：注入食（鼻腔・胃瘻等の流動食）
 普通：副食普通菜、刻み：副食刻み（一口大）菜、小刻み：副食小刻み（0.7cm以下）菜、
 極小：副食極小刻み（0.3cm以下）菜、ミキサー：副食ミキサー（ミキサー食にはソフト食を含む）

(2) 検食実施状況

	時間	検食者
朝食	AM 6:30	前日の宿直者
昼食	AM 11:00	前日の宿直者（土・日曜日、祝祭日は日直者）
夕食	PM 5:00	宿直者

(3) 栄養摂取状況（平成31年度）

	エネルギー (kcal)	蛋白質 (g)	脂質 (g)	Ca (mg)	Fe (mg)
基準量	1,350	50	37	650	6
年間平均	1,417	47	35	492	7
		VA (μg)	VD (μg)	食物繊維 (g)	食塩 (g)
基準量		800	5.5	12	8未満
年間平均		641	2.3	13	8.8

5. 行事食等献立一覧(令和元年度)

	行事名	献立内容 行事食・手作りおやつ等(一例)
4月	ユ・多の行事	手作りベビーカステラ
	おたのしみおやつ	手作り牛乳プリン 手作りフレンチトースト クッキーとチョコ/プリン
5月	即位の日	赤飯
	子供の日	オムライス・ミートボール
	花祭り	甘茶を振る舞う
	ユ・多の行事	手作りどらやき
6月	おたのしみおやつ	手作りおはぎ/かしわもち 水ようかん/ショコラケーキ
	ユ・多の行事	スイーツバイキング 手作りにこやき プリンアラモード
7月	半夏生 鯖	焼塩鯖の切り身
	七夕	冷そうめん・星型のハンバーグ
	土用の丑の日	鰻の蒲焼き
	ユ・多の行事	手作りカレー・フルーツポンチ 手作りホットケーキ 手作りクリームソーダー
	おたのしみおやつ	手作りゼリー/くずまんじゅう アイスクリーム
8月	すずらん納涼祭	焼きそば/たこやき/やきとり 焼ナス/ベビーカステラ/すいか
	木の実納涼祭	流しそうめん/くずまんじゅう やきとり/たこやき
	ユ・多の行事	かき氷
	おたのしみおやつ	まんじゅういろいろ くずまんじゅう
9月	なの花納涼祭	焼肉/ポテサラ おやつ: 鈴カステラ
	さくら秋祭り	焼きそば/たこやき/フランクフルト つくね/おやつ: 手作りゼリー
	敬老会	パック料理(弁当) 赤飯・天ぷら・炊き合わせ すまし汁・ねりきり など
	秋分の日	おはぎ
	おたのしみおやつ	ブッセケーキ/駄菓子 手作りスイートポテト 手作り芋ようかん
10月	創立記念日	赤飯 上用まんじゅう
	ユ・多の行事	さつまいも御飯・豚汁/牛乳寒天
11月	鍋企画	すき焼き
	おたのしみおやつ	手作りさつまかぼちゃようかん 芋ようかん/ケーキ

	行事名	献立内容 行事食・手作りおやつ等(一例)
12月	クリスマス	モミの木ハンバーグ・ポテトサラダ クリスマスケーキ
	冬至	南瓜の煮物・ねりきり
	もちつき大会	餅入りぜんざい
	年越し	年越しそば・天ぷら・かき揚げ
	寿司企画	握り寿司パーティー (さくら・なの花・木の実)
ユ・多の行事	ユ・多の行事	手作りおやつ(ロールケーキ) 手作り昼食(おでん・和え物)
	おたのしみおやつ	手作りぜんざい/プリン 手作りティラミス 手作りクリスマスケーキ
1月	正月	1日 おせち盛り合わせ 2日 お雑煮 3日 ちらし寿司
	七草粥	七草粥
	小正月	ぜんざい
	ユ・多の行事	手作りどら焼き 鶏団子鍋・長芋の酢の物 うどんすき・ぜんざい
2月	おたのしみおやつ	おしるこ/練乳いちご りんごコンポート/プリン
	節分	煮豆・鰯の生姜煮 季節のおまんじゅう・節分豆
3月	寿司企画	握り寿司パーティー (きのみ・デイサービス)
	ふるさとの日	野木小から頂いたお米を使用 おやつ: でっちようかん
	おたのしみおやつ	チョコレートケーキ/プリン 手作りティラミス
	桃の節句	宝石ちらし・ねりきり
ユ・多の行事	ユ・多の行事	手作りフルーツポンチ 煮込みハンバーグ・ポテサラ
	おたのしみおやつ	せんべいとチョコ/さくらもち 手作りおはぎ

※その他

○毎月第3週

誕生日メニュー、おやつ(ケーキ、ジュース)を提供

※ユ・多の行事

ユニット・多床室内での誕生会、手作り昼食やおやつなどのイベント行事の略

※おたのしみおやつ

各ユニット、多床室、デイサービスによって利用者のADLや嗜好、おやつへの取り組み方が違うため、その利用者に喜んでもらえるおやつをみんなで考えてもらい月1回提供を行う。

6. リハビリテーション実施状況

(令和2年3月31日現在)

訓練内容	内 訳	リハビリ効果	対象人数	実施回数
ベッド上訓練	寝返り お尻上げ 起き上がり おへそのぞき	起居動作をスムーズにする 腹筋を鍛える	2	週5回
			4	週2回
座位保持訓練	端座位	腹筋、背筋強化	6	週5回
			14	週2回
下肢筋力向上訓練	重り上げ 膝伸ばし 足踏み	前頸骨筋強化 大腿四頭筋強化 骨盤前面筋の強化	6	週5回
			13	週2回
関節可動域訓練	上下肢(他動)	上下肢の筋萎縮や拘縮の予防 両肢位保持	6	週5回
			21	週2回
ストレッチ	上下肢、体幹	筋短縮予防	6	週5回
			21	週2回
立位訓練	立ち上がり 立位保持 立位時重心移動	移乗時のバランス保持 立位時の下肢安定	6	週5回
			11	週2回
歩行訓練	平行棒内歩行 杖歩行 歩行器	日常生活範囲の拡大	2	週5回
			8	週2回
温熱療法	赤外線照射 ホットパック 足浴	鎮痛作用 温熱効果、血流促進	1	週5回
言語療法	嚥下訓練	脳への刺激、嚥下促進効果 唾液分泌、自浄作用	0	週2回
生活リハビリ		日常生活行為にて機能維持	68	毎日

7. ボランティア活動状況

(令和元年度)

月	シーツ交換	屋内外清掃	演 芸	行事援助	友愛訪問	合 計
4						0
5	4					4
6	4				15	19
7	3		15		36	54
8	5	3				8
9	6	13		2		21
10			9		31	40
11	4					4
12	5					5
1	4					4
2	0					0
3	0					0
合計	35	16	24	2	82	159

ボランティア団体名

若狭町上中地区日赤奉仕団、若狭町仏教会、ラ・フローラ、野木小学校、三宅小学校
三宅保育所、松寿苑OGみるくの会、若狭町シルバー人材センター、連合福井

8. 研修受け入れ状況

(令和元年度)

年 月 日	内 容	人 数
7/29~31	若狭高等看護学院 老年看護実習	9
7/22~7/25	美方高等学校2年生 就業体験実習	1
8/21~8/23	上中中学校 職場体験	2
合 計		12

9. 職員研修状況

	研修名	研修日	主催・内容等	参加者数
県 内	主任介護支援専門員更新基礎研修	4/19	福井県介護支援専門員協会	1
	福井県介護支援専門員再研修	5/16～8/7(12日間)	福井県社会福祉協議会	1
	東海・北陸ブロック老人福祉施設研修会	7/17～7/8(2日間)	東海北陸ブロック老人福祉施設協議会(福井)	1
	主任介護支援専門員更新基礎研修	8/1～9/24(8日間)	福井県介護支援専門員協会	1
	介護職員特定処遇改善加算に係る説明会	8/23	福井県健康福祉部長寿福祉課	1
	リスクマネジメント研修会	8/27	福井県老人福祉施設協議会	1
	災害時の食生活支援講習会	8/28	福井県嶺南振興局	1
	東海・北陸ブロック地域包括・在宅介護支援センター研究業議会	9/19～9/20(2日間)	福井県地域包括・在宅介護支援センター協議会	1
	デイサービス送迎安全運行研修	10/3	福井県デイサービスセンター協議会	1
	感染症予防対策研修会	10/9	福井県老人福祉施設協議会	2
	認知症介護実践者等研修	10/30～1/23(25日間)	福井県社会福祉協議会	1
	福祉サービス苦情解決機能強化セミナー	11/5	福井県社会福祉協議会	3
	雇用管理セミナー	11/14	小浜公共職業安定所	1
	ユニットケア研修	12/2～12/4(4日間)	日本ユニットケア推進センター	1
	福井県介護支援専門員協会資質向上研修	1/17	福井県介護支援専門員協会	2
	県老人福祉施設施設長・職員研修&事例研究報告会	1/29	福井県社会福祉協議会	2
	中堅職員フォローアップ研修	1/30	福井県社会福祉協議会	1
	初任職員フォローアップ研修	2/5	福井県社会福祉協議会	1
	中堅職員フォローアップ研修	2/13	福井県社会福祉協議会	1
	公正採用選考人啓発推進研修会	2/21	小浜公共職業安定所	1
	施設長会議	5回/年	県老施協主催	1
	相談員研究委員会	6回/年	県老施協主催(テーマを決め検討)	1
	看護職員研究委員会	6回/年	〃	1
	栄養士研究委員会	5回/年	〃	1

	研修名	研修日	主催・内容等	参加者数
施設内	感染症について	7/25	食中毒、藤原管理栄養士	23
	高齢者虐待防止法について	8/22	北村副苑長	27
	リスクマネジメントについて	9/26	北村副苑長	28
	感染症について	10/24	吉田看護師、山田看護師	28
	看取りケア	11/19	上中診療所 岡本院長先生	39
	認知症の方とのコミュニケーション	12/26	百田介護職	35
	1年間の取組発表	3/26	各ユニット取組発表者	42
	初任者研修	採用時	野村介護主任	3

IV. 指定短期入所生活介護事業所ショートスティ松寿苑

1. 令和元年度まとめ

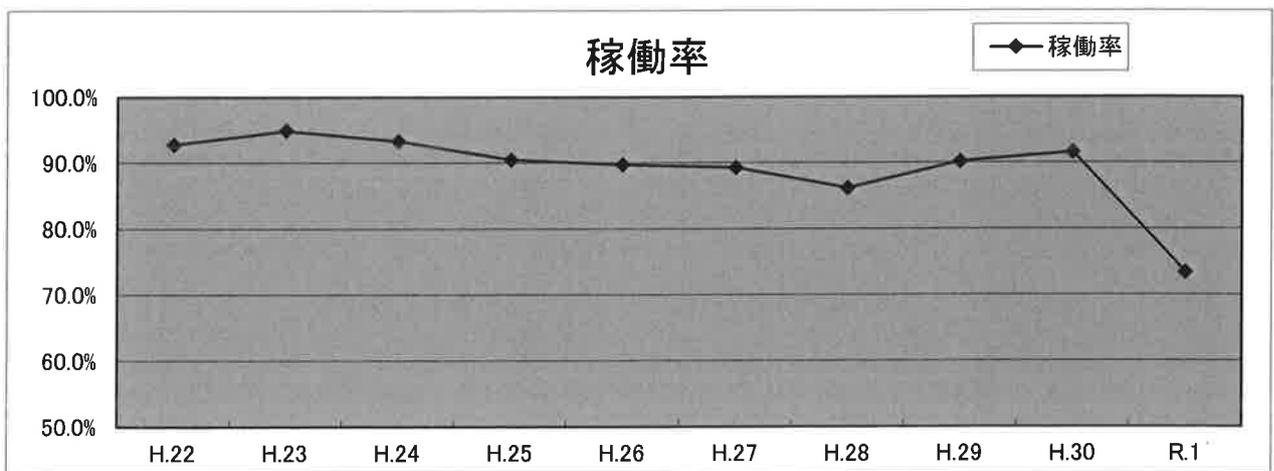
今年度は介護職員の人員不足等により、新規利用者の受入が困難な時期が続き、それに伴い月間利用者数が減少した。その為、稼働率は80%を切る等大幅に低下した。

サービスの質に関しては、少ない人数の中で出来る限りの対応を試みたが、去年まで行ってきた職員が楽器を使って利用者を楽しんでもらった音楽活動においては殆ど行うことは出来なかった。しかし、利用者への気配りや要望へのスムーズな対応など、サービスの質を確保してきた。

また徐々に職員の体制も確保されたことから、年明けより新年度に向けて新規利用者を増やしていく方向で動いていたが、新型コロナウイルスの影響により思うような成果を得ることが出来ていない。今後、感染防止策を講じながら利用者を安全に受入していく事が当面の課題となっている。

2. ショートスティ利用状況

(1) 年度別利用状況



	H. 22	H. 23	H. 24	H. 25	H. 26	H. 27	H. 28	H. 29	H. 30	R. 1
件数	275	316	382	583	697	699	733	718	711	591
日数	2,233	2,333	2,670	3,468	3,314	3,268	3,165	3,331	3,359	2,686
内介護予防	35	5	10	50	77	194	107	131	54	8
内空床利用	201	249	154	165	39	0	19	38	15	0
実短期日数	2,032	2,084	2,516	3,303	3,275	3,268	3,146	3,293	3,344	2,686
稼働率	92.8%	94.9%	93.3%	90.5%	89.7%	89.3%	86.2%	90.2%	91.6%	73.4%

※ H.24年11月25日から定員増 6床→10床

(2) 令和元年度月別利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
件数	61	59	50	54	51	47	49	45	48	38	42	47	591
日数	260	271	238	225	217	199	213	218	225	184	225	211	2,686
内介護予防	2	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	8
内空床利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(3) 令和元年度市町村別利用者状況

	小浜市	若狭町	おおい町	その他	合計
件数	260	269	62	0	591
日数	1,138	1,245	303	0	2,686

V. 松寿苑デイサービスあ・うん

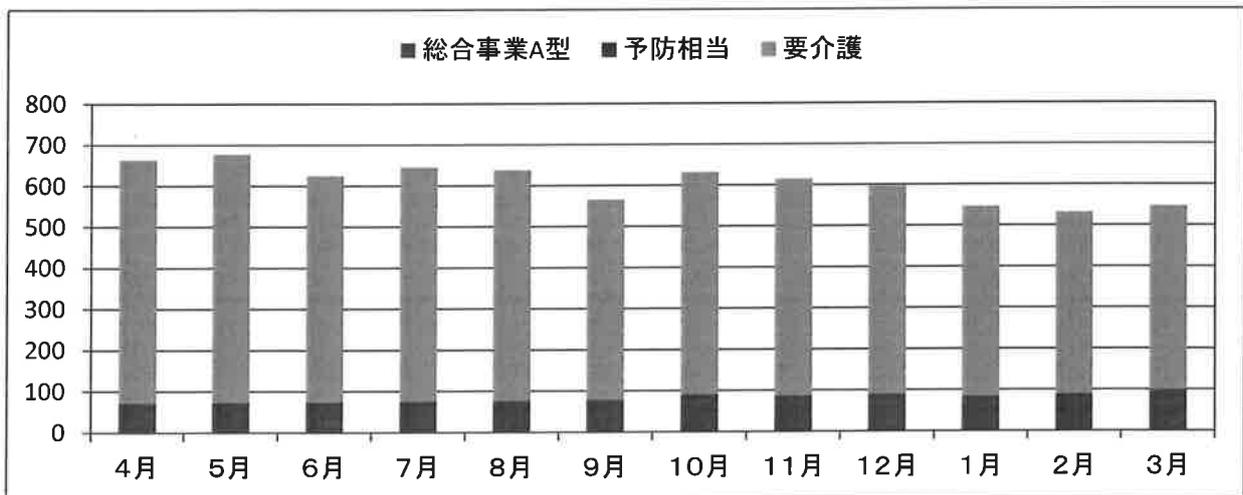
1. 令和元年度まとめ

令和元年度の利用登録数は、3月31日時点で介護予防の利用者16名、通所介護の利用者65名であり、平成30年度の12名、75名から比べると6名減少となっている。稼働率については、令和元年度は78.6%で、平成30年度の83.4%に比べ減少した。これについては、4月から例年通り推移していたが、介護職員の不足により7月～11月の5ヶ月間デイサービスから特養へ1名応援に就き新規ご利用の受入を一時中止した。加え新型コロナウイルス感染症の流行によって、新規利用を控える動きがでたことが影響した。

新規利用者確保のため、広報誌での情報発信をはじめ、居宅介護支援事業所へ空き情報を連絡し、依頼時には迅速に対応すること。利用者の体調などをしっかり観察し、居宅ケアマネジャーに必要な情報を随時報告すること心がけ、居宅ケアマネジャーにとって利用しやすいデイサービスを印象付けた。

既存利用者に対しては、身体状況の変化や家族の要望を的確に把握し、個別通所介護計画へ反映、介護実践することで安心して利用できるデイサービスとして活動した。サービス内容については、軽度から中重度の幅広い利用者に満足して頂けるよう、難しいレクリエーションや体操、マシン、レッドコードを使ったリハビリ、行事等で満足感を得られるようなサービス提供を行った。この他、感染症予防として、11月にインフルエンザやノロウイルス対策をご利用者、ご家族に文書で周知し、罹患時の対応を明確にすることで、デイサービス内での感染を予防した。新型コロナウイルス対策では、アルコール等での手指や家具、リハビリ機器の消毒や換気などでの感染予防や文書による連絡を行い、デイサービスご利用に対する不安の軽減に努めた。

2. 平成30年度月別利用状況



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
総合事業A型	71	73	74	75	76	78	91	87	90	84	89	99	987
予防相当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護	593	604	551	570	562	488	541	528	506	462	443	448	6,296
合計	664	677	625	645	638	566	632	615	596	546	532	547	7,283
定員数	780	810	810	810	750	780	780	780	750	720	720	780	9,270
稼働率	85.1%	83.6%	77.2%	79.6%	85.1%	72.6%	81.0%	78.8%	79.5%	75.8%	73.9%	70.1%	78.6%

※介護予防・日常生活支援総合事業総合A型…サービス提供時間 9:00～12:30

※加算状況

利用者数	個別機能訓練加算Ⅰ	個別機能訓練加算Ⅱ	入浴介助	認知症加算
6,296	4,258	4,616	5,835	1,950
加算率	67.6%	73.3%	92.7%	31.0%

※ 認知症加算は、認知症老人の生活自立度Ⅲ以上の方が対象

VI. 居宅介護支援事業所松寿苑

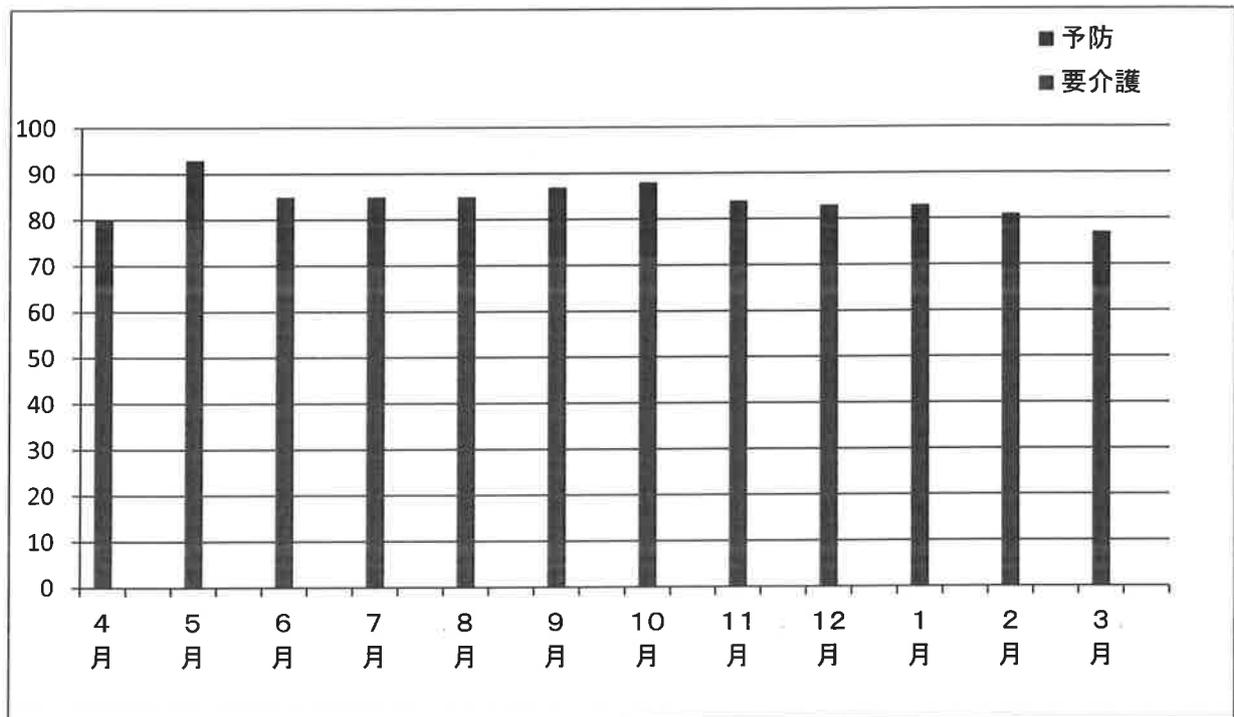
1. 令和元年度まとめ

令和元年度も前年度に引き続き、総合事業の委託を月平均14名の受け入れを行った。要介護者についても、月平均70名の実績があった。新規利用者も元年度は12名であった。

在宅支援をしていく中で、老々介護、認々介護、独居の方が多くなり、支援困難になるケースが増加している。包括支援センターと連携を取りながら若狭町として必要な支援の提案を行っていった。

今後も若狭町で住み続けて頂くため、地域のニーズの把握に取り組んでいきたい。

2. 令和元年度月別ケアプラン作成件数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
介護予防ケアマネジメント	8	9	10	9	10	9	10	9	9	9	9	9	110
予防給付ケアプラン作成	6	6	6	6	6	6	6	5	4	3	3	3	60
小計	14	15	16	15	16	15	16	14	13	12	12	12	170
要介護	66	78	69	70	69	72	72	70	70	71	69	65	841
合計	80	93	85	85	85	87	88	84	83	83	81	77	1,011

VII. 事故およびヒヤリ・ハット発生状況

○特養

1. 事故・・・ 2件

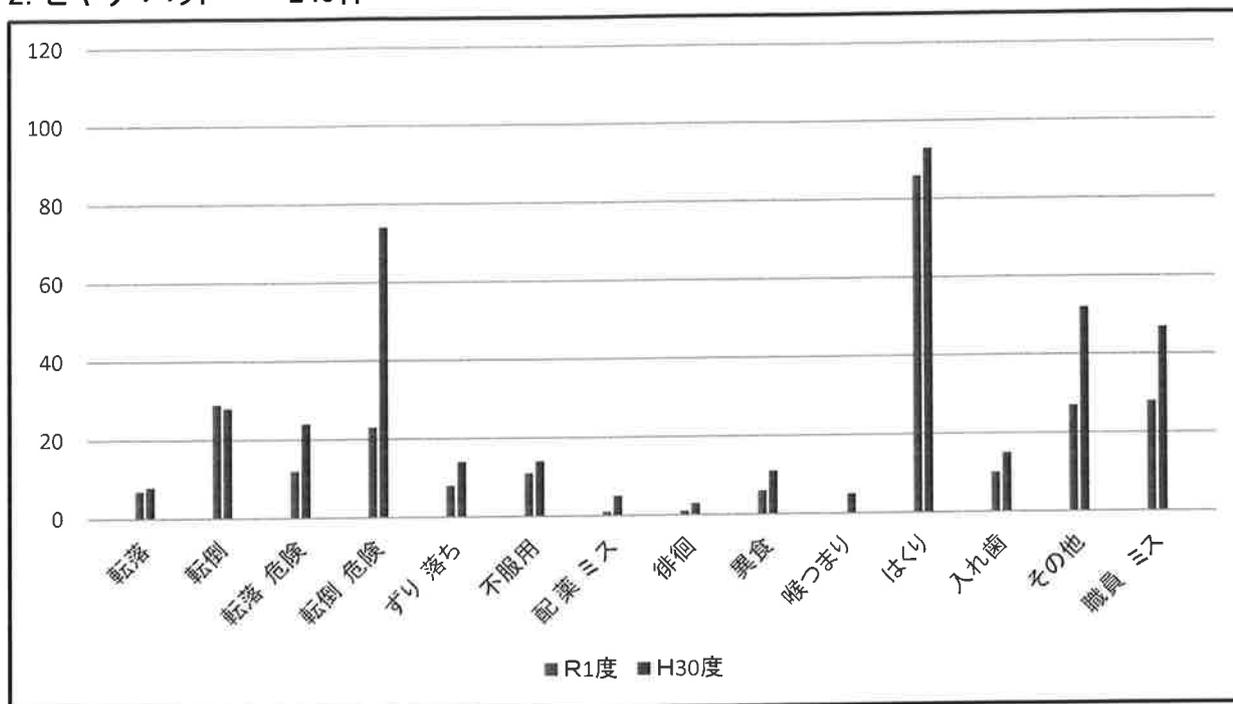
※骨折・・・1件(8月) 裂傷・・・1件(1月) 誤薬・・・2件(10月1件、2月1件)

内容

令和元年度

骨折	【概要】	訪室すると、居室中央で右側を下にして倒れている本人を発見。その際、右の前額部から出血、右足に痛みあり。待機看護職員の指示により止血し、夜間の間安静にする。翌朝右足の痛みが強くなり、発熱もあったため病院受診する。右前額部の創に関しては縫合、ガーゼ保護の処置を受ける。右足に関しては右大腿骨頸部骨折と診断、手術目的で入院となる。
	【原因】	下肢筋力低下が原因の一つとして挙げられる。また、認知症により歩行不安定も急に歩き出す等で転倒危険が高い事も要因として考えられる。
	【対策】	退院時は下肢筋力低下により歩行不安定であるため、車いすを使用。認知症あり 急な立ち上がりがあることから、共同スペースにいる場合は見守り行き、居室でベッド上にいるときはセンサーマット使用して様子を見る。また、徐々に機能訓練指導員の指示の下、下肢筋力向上訓練を行い、転倒のリスクを軽減する。
裂傷	【概要】	下肢筋力低下により歩行不可、車いす使用で立位不安定の方。夕食後車いすから本人居室のベッドへ移乗し、端坐位になってもらう。車いすを洗面台によけるため少しの間目を離した瞬間、本人より「落ちるー」との声がしたため振り向くと、ベッド下に右を下にしてうつぶせ状態で転落していた。
	【原因】	下肢筋力低下により端座位になるも足に力が入らず前のめりに転落したことが原因として考えられる。
	【対策】	端座位になった時は必ず目を離さず、見守りを行い転落防止に努める。また、利用者自身の日常の動きは加齢や病気により日々変化していくことも頭に入れ、今までできていたことを当たり前と思わず常に状態の確認と他職員との共有を行っていく。
誤薬	【概要】	2件共介助する職員が他利用者の薬であることを確認せずに服薬させてしまった事故。服薬後確認して直ちに看護職員の指示を受け、状態の細目な観察を行い、特に変わりなく過ごしている。
	【原因】	配薬に関しては間違っていなかったが、服薬する前に、事前に本人の前で声を出して名前の確認を行うことで対策していたが、今回の2件に関しては怠ってしまった事が原因として考えられる。
	【対策】	声を出す事で利用者本人が気づくこともあるが、周囲の職員が間違っていることに気づくこともある。また、職員自身の再確認にもなるため、必ず本人の名前を声に出して確認してから服薬してもらうように再度徹底する。

2. ヒヤリ・ハット・・・ 249件



	転落	転倒	転落危険	転倒危険	ずり落ち	不服用	配薬ミス	徘徊	異食	喉つまり	はくり	入れ歯	その他	職員ミス	合計
R1度	7	29	12	23	8	11	1	1	6	0	86	10	27	28	249
H30度	8	28	24	74	14	14	5	3	11	5	93	15	52	47	393

内容

転落・転倒	<p>転倒、転落は変化ないが、転落危険や転倒危険が減少している。実際に危険な場面が減少していることが考えられるが、理由としては平均要介護度が上がり転倒リスクの利用者が少なくなったことが考えられる。</p> <p>一方で、転倒、転落自体が減少していないことから、転倒リスクがある方に関しては確認できていないだけで転落・転倒危険が起こっている可能性は考えられる。職員配置の問題から日中の見守りが不十分な事もあるが、今一度ヒヤリハットの重要性を再度周知して取り組む。</p>
配薬ミス	<p>前年度に比べて減少している。以前から行っていた服薬までの4重チェックを各職員がしっかり行えていることが要因にある。また、介護職員がチェックする際に薬の写真を撮り、実際に写真の一覧表と照らし合わせて確認を行う取組をしていることも減少の要因として考えられる。</p> <p>しかし、今回誤薬が2件発生していることから、本来誤薬を防ぐ為の配薬ミス対策であるため、最終的に誤薬につながらないような対応を引き続き検討し、ミスが起こりにくくなるような環境を作っていく。</p>
はくり	<p>86件の内、内出血46件、はくり40件である。前年度に比べて多少減少しているが、一人の利用者に内出血、はくり合わせて27件あった。</p> <p>まず全体として、以前から対策としてはくりしやすい入浴時の皮膚の摩擦軽減や、アームカバー、レッグウォーマー等の保護は継続して行っており、対策として定着している。また、内出血の時点ではくりとカウントする事で、はくりの重要性を認識をすることにも一定の効果は見られた。</p> <p>今回の新しい取り組みとしては、以前課題であった内出血箇所を職員が介助時に持っしまいはくり繋がるケースについて、人体図を使用し内出血やはくり箇所を対応した職員が書き込むことで、全職員はすぐに内出血の場所を把握できるような工夫を行った。</p> <p>また、27件の利用者について、高齢で皮膚状態が弱い事もあり、上記のような対応を行っても減少しなかった。現在も対策検討中。</p>

3. 発生月別表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転落	0	1	0	1	1	1	0	0	1	2	0	0	7
転倒	0	5	2	3	2	3	1	2	3	3	3	2	29
転落危険	0	2	0	1	1	1	2	0	1	1	1	2	12
転倒危険	4	0	0	0	2	1	4	3	3	3	2	1	23
ずり落ち	1	0	1	1	0	1	0	1	1	1	0	1	8
不服用	0	1	0	0	3	2	2	1	0	0	0	2	11
配薬ミス	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
徘徊	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
異食	0	0	1	0	0	0	1	1	0	1	2	0	6
喉つまり	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
内出血	3	1	4	2	5	2	7	5	4	5	5	3	46
はくり	2	2	1	3	1	3	2	8	6	3	4	5	40
入れ歯	1	1	3	1	1	0	1	0	0	1	1	0	10
その他	2	9	5	9	5	9	3	3	1	4	3	2	55
合計	15	22	17	21	21	23	23	24	20	24	21	18	249

○短期入所・デイサービス

事故・ヒヤリハット発生月別表(項目別) ※表()内はデイサービス

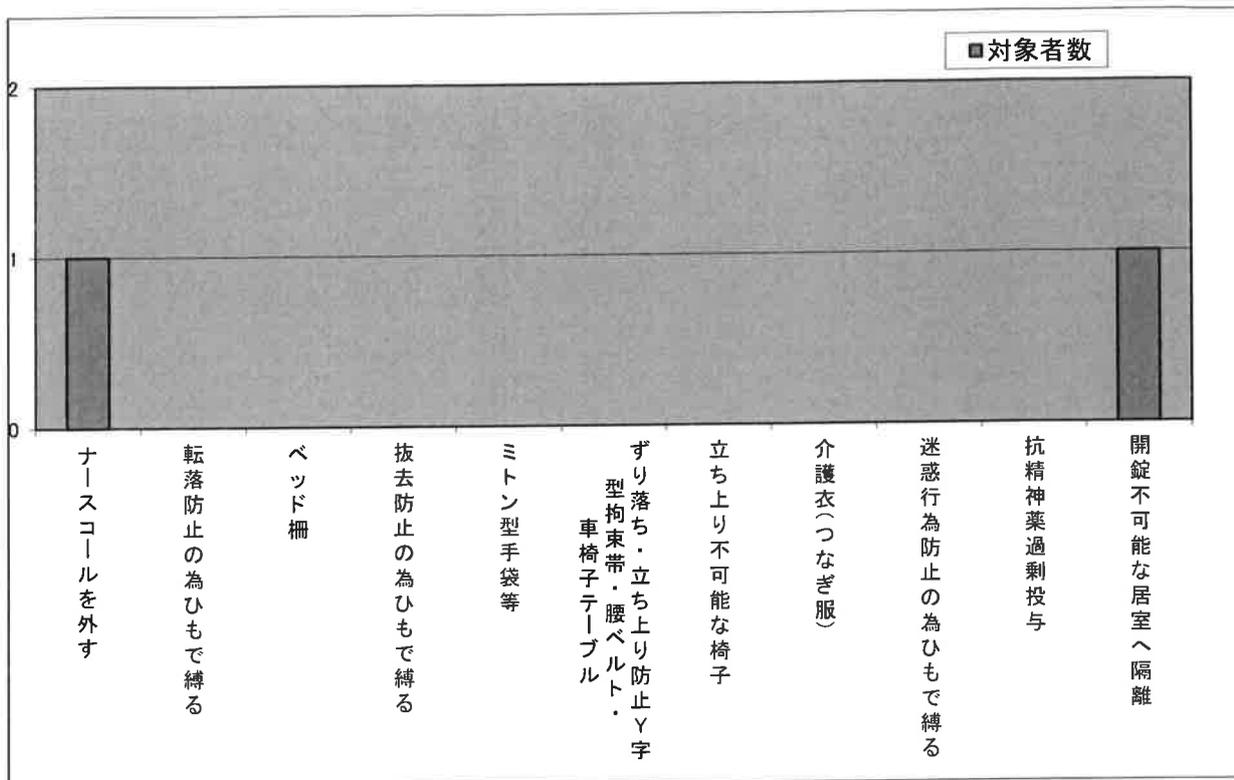
1. 事故・・・0件

2. ヒヤリハット・・・全体51件(短期45件 デイ6件)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
転落	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (1)
転倒	0 (0)	2 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (2)	0 (0)	0 (0)	1 (1)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (4)
転落危険	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)
転倒危険	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (1)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (1)
ずり落ち	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)
不服用	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
配薬ミス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)
徘徊	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)
異食	1 (0)	0 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)
喉つまり	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
内出血	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	0 (0)	5 (0)
はくり	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	6 (0)
入れ歯	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	2 (0)
その他	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	3 (0)
職員ミス	1 (0)	1 (0)	1 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)	0 (0)	6 (0)
合計	10 (0)	7 (0)	5 (0)	3 (0)	5 (3)	3 (0)	4 (0)	4 (2)	1 (1)	0 (0)	9 (0)	0 (0)	45 (6)

VIII. 身体拘束の状況

(令和元年度)



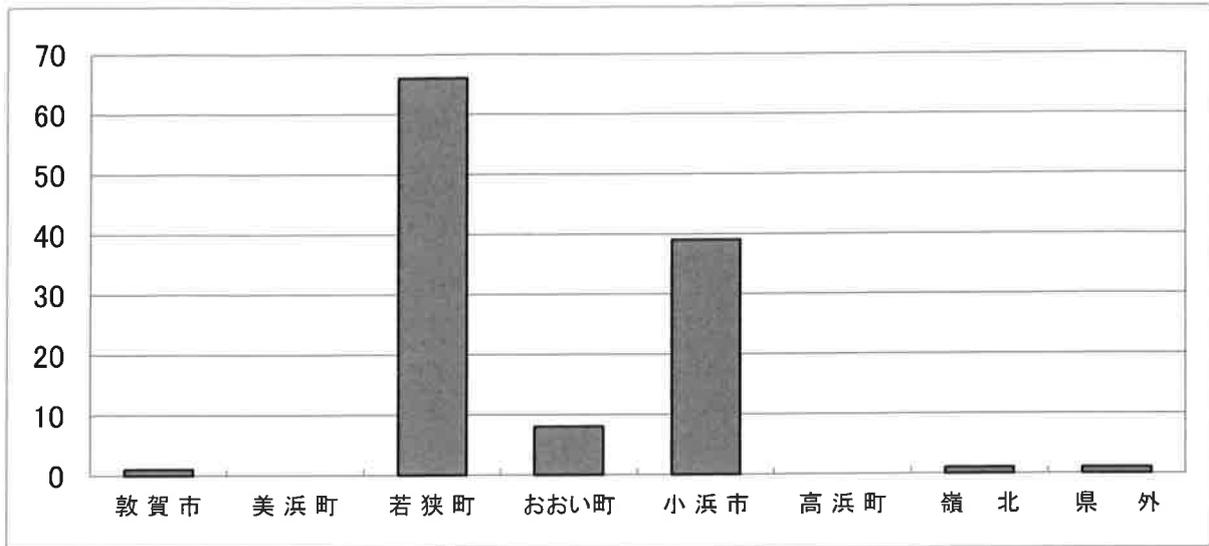
内 容	原 因	人数	備 考
ナースコールを外す	精神疾患に伴い精神的に不穏になると、ナースコールを押し続けることがあり、他の利用者へのコール対応が出来なくなる。	1	不穏な時にナースコールを外す。外しているときは、定期的に訪問し状況把握する。また本人の声が聞こえたら直ぐに対応する。主治医と随時状況報告し、内服調整行い解除時期を検討していく。
居室の施錠	認知症により常時職員への暴言、暴力、介護抵抗あり。また、夜間帯他利用者居室への徘徊あり、ベッド横で立ち上がる行為が見られた。利用者の中には胃ろうの方もいるため、今後胃ろうチューブを抜くなど命に係わる行為を行う可能性があった。	1	夜間、職員が見守りできない時間帯に施錠。内服調整と関わり方により解除する時期を模索していく。

IX. 苦情受付状況

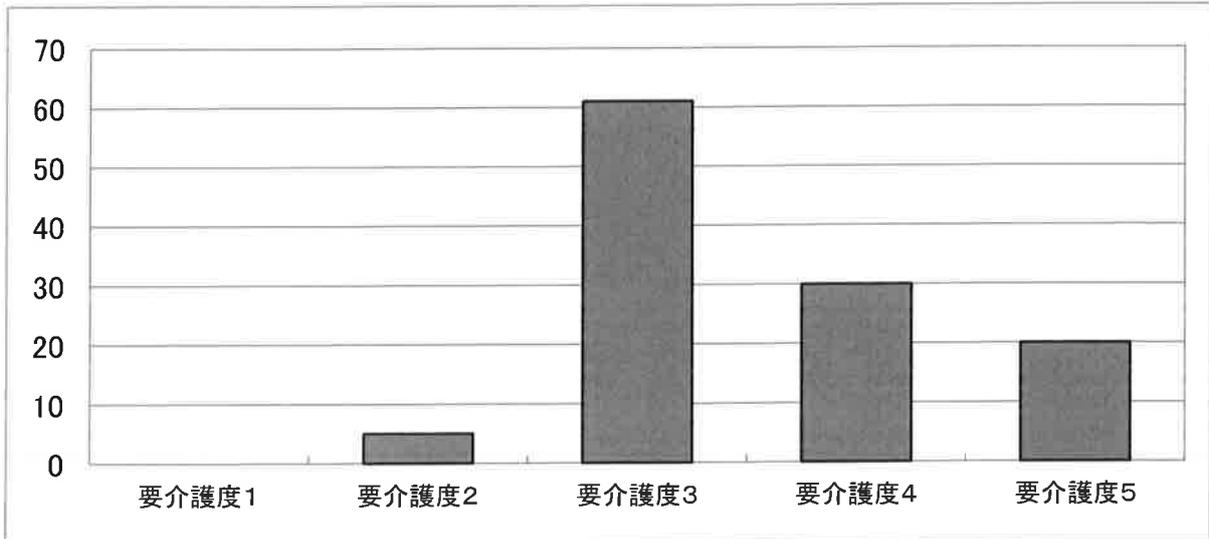
苦情受付 0件

◎ 入苑待機状況
・市町村別

(令和2年3月31日現在)



・要介護度別



	要介護度1	要介護度2	要介護度3	要介護度4	要介護度5	合計
敦賀市	0	0	1	0	0	1
美浜町	0	0	0	0	0	0
若狭町	0	3	36	16	11	66
おおい町	0	0	5	2	1	8
小浜市	0	2	19	10	8	39
高浜町	0	0	0	0	0	0
嶺北	0	0	0	1	0	1
県外	0	0	0	1	0	1
合計	0	5	61	30	20	116